

磐城時報

編輯兼發行所 磐城石城郡平町新田十四
印刷所 磐城石城郡平町新田十四
電話 磐城石城郡平町新田十四
廣告料 一月十四字五拾銭
A 日刊 (日曜、祭日) 休刊

病氣と生活苦のため 親子二名情死を計る

母と子のみ生き残る 不景氣が産んだ悲劇

湯本町字笠井四番地木炭商佐藤稼いでたけれど不況益々深
今朝治(三九)は数年前妻に死別して到底糊口を凌ぐ事が出来な
し酌婦上りの佐藤イヨ(四三)をくたつたため子供を殺して親子
後妻に入れ先妻の子フク(九三)三名心中をする事になつたが、
三人暮しであつたが不景氣の今朝治は死んだ先妻が埋つてゐ
ため生活が困難となり昨年四月の綴の墓地で死にたいといふの
千葉市西院内二百九十九番地に千葉市から東京に廻りこの世
移つたが、今朝治が病氣のため名残りに淺草其他を見物し八
イヨは千葉驛前旅館渡邊某方の日午後十時上野驛發列車で情死
女中となり夫と子供の生活費をすべき墓地のある綴に出發した

子供を親戚にあづけ 毒をのんで首を縊る

遂に死におくれた妻

綴に到着したのは九日朝でそのに告げたのであつた。齋藤方で
日は親子三名で附近を徘徊したは驚いて平署に届出たので橋
が何事も知らない子供を死出の谷田部長検視の結果前記の事情
旅に連れ行く事は流石に忍びなが判明したが兩名は齋藤濱次郎
かつたため先妻の實家である綴新編縣尾崎留次郎、湯本町渡邊
の齋藤濱太郎方に至り墓掃除に甚作その他に宛てた遺書七通を
来たが偽はり子供をあづけ夫婦持つてゐた。

磐越銀行 第一回拂戻し

朝高き一丈の杉の木に帯を吊し破産した磐越銀行の預金者に對
夫婦が縊死を企てたが妻はさうする五分一厘の拂戻しは十一日
しても死ね事が出来ず夫の死骸から三日間磐越銀行内で行つて
をそのまゝにしてその旨齋藤方あるが、拂出總額は九百口一萬

西澤炭礦 休山は誤り

赤井村西澤炭礦は休山した旨昨

報したが、右は西澤炭礦々區のをともが發見郡山署に急報した
一部を採掘してゐる丸菱炭礦で
坑夫三十余名を解雇せんが爲るや頑強に抵抗し大格闘の未取
時休山したもので結局同坑も西押へたが、餘罪ある見込で嚴重
澤炭礦で經營する事となり從業取調中。

政黨を超越して 大平氏が金成氏應援

貴族院議員選舉で 濱三郡完全に結束

石城民政黨の重鎮であり元縣議馬十一資格者中大半の同情を得
前勿來町長大平陸四郎氏は今回濱三郡に於ける大勢は既に決定
執行される貴族院議員選舉の有せるかの感深からしむるに至
資格者であるが、數日前現勿來つたが、純理に基いた大平氏今
町長にして矢張有資格者の赤津回の態度は一面金成氏そのもの
庄兵衛氏を通じて金成候補に
自分は政黨を超越して斷然地
方のため金成君を上院議員選
種の候補者に推薦する、斯る
つてはいけない人物本位で進
むべきである。

四倉海岸から

平第一校臨海學校通信

八月八日(第八回)
今日のはなつかしい平、戀しい
父母の許に歸られるかと思ふ
心がわくわくする。今朝は
皆早く目を覺ました様です。
「起床」が待ち遠しい。
思ひ出せば七日間の海岸生活

廣く労働者にまで 水道工事慰勞金

けふ平町役場で支給 町會議員には二十圓宛

過般水道委員會に於て決定した
水道擴張工事完成に伴ふ慰勞金
は舊盆前でもあるので十一日か
ら平町役場で支給したが、詳細
は
擴張工事顧問茂庭博士に金五
百圓、伏見町長に同三百五十
圓と百圓の紀念品、町會議員で
之の金額五百九十三圓である

賀澤氏會長を辭し 共濟病院紛擾解決

從前通り石山博士經營

平町磐城共濟病院長交代問題は
既報の如く木村清治氏に一任す
る事に決したが、十日午後三時
半から越の家に於て
木村清治、石山謙郎、有馬勇
次郎、小田吉治
四氏が會見し種々協議の結果
賀澤忠治氏は共濟會長並に病
院の主管を辭し石山博士が從前
通り病院經營に當る事となり完
全に解決した。尙後任院長たる
日夜歸京した。

平署の首腦部 全部入り替え

平警察署長伊藤儀七氏は今回縣

平警察署長伊藤儀七氏は今回縣
警察官變動で休職となり十二
日官舎を引上げる事になつた。
後任平署長小田部秀雄氏は十五
日頃着任の筈である。平署には
次郎、佐久間正美の兩警部補は
揃つて警部に抜擢され前者は衛
元氣よげに、はねおきて各
自荷物整理です。終つて舍生
課、後者は福島に榮轉、橋本
警部補來任する事になつた。

親子共謀して 前借詐欺

親共謀して 前借詐欺

内外の大整理。皆で後仕末を
よくしやうと一生懸命です。
天気は曇つてゐる。秋の様で
す。だが海の生活が今日より
だと思ふと室の中になど居ら
れません。一時でも海へ行つ
て居たい。赤帽、赤帽、肌焼
けした一体が團旗先頭を列を
つづつて海へ行く。小川郷か
ら七百人とかの特別団体とか
で割合賑やかですが例年の様
ではありませぬ。僕等は海邊
平署に送られた。

で砂遊びしてゐて歸ろうとす
ると、日にやけて肌の赤黒く
光つた、だが人のよさそうな
爺さんが「お前等どこだい？」
「平だ」「先生どこに居た？」
指さすその爺さんは先生の
方に行つて「先生舟引き手傳
つておこなんしよ」「あぶな
くはありませんか」「決して
あぶなはないから」と言ふ
ので先生方は相談して舟引き
を手傳ふ事になりました。皆で
掛聲揃ひて引くと、巨大なる
四十八社丸も「ぐー」と妙な
音を立て、動き出します。か
くして引く事三十分、舟は海
上に浮く事が出来ました。舟
方たちも皆うれしそうです。
恐しい様な顔に皆感謝の念を
表して居る様です。

暑中御伺申上候

平町五丁目

諸橋久太郎
諸橋元三郎

夏の御調髪は

是非どうぞ……

明るい感じ清々しく
電氣バリカンの爽快な刈込み
氣持よいシヤンブー電氣アイロン
電氣マツサードの上品な仕上げ
キツト皆様の御氣に
召すて御座いませう。
そして
御上品にて心を籠めてお刈りする當理髮舖の
優秀な御調髪をぜひ一度御試し下さい。

石崎理髮店

平町電話一八八番

音樂講習會

簡易作曲法

和聲學初歩對位法
伴奏、附ケ方
歌謠曲ノ作り方

ピアノ科

▲期日 十五日ヨリ二十一日マデ

▲會場 平陽女學校

▲時間 作曲科午前八時—十一時
ピアノ科午後一時ヨリ四時迄

▲講師 武藏野音樂學校卒業

中野篤親

會費 一科目三圓 二科目五圓

申込所 柴田書店、菊屋樂器店

……初歩の方も歡迎致します。

美神淋藥

試用 一週分 八圓
二週分 一四圓
七週分 一七圓

驚らかな美音、消化殺菌

超仁銀粒

懐中良藥
一町一店主義で
販賣店募集
目下大特典アリ此期ヲ過セズ至急
照會アレテ電話何レニテモ可ク
返事ス 送セバ大損ツカメ此機會



氣人大然俄て入水香中口るなくよの

角目丁五町平 局藥邊野山 店理代方地

正札堂の……夏服

黒セルセビロ 上下 六圓五錢ヨリ
パンビースセビロ 上下 八圓五錢ヨリ
ボーラーセビロ 上下 九圓ヨリ
ボーラー最上品 三ツ組 十八圓五錢ヨリ
白ズボン 七十五錢ヨリ

正札堂洋服店

電話四三六

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

心安積蓄 利低通融
三本無盡
許免臣大藏大
社會盡無用信本湯
番七四話電

毒核 腸胃
皮膚病 婦人病 淋病 十二指 腸胃病 胃腸病
院醫科 腸胃性 村松
(七〇一話電) 町南町平

大藏大臣 許免臣大藏大
磐城無盡
湯本信用無盡社會

故高岡唯一郎
故伊藤芳吉
故山崎忠治
右新益に相當り候處時節柄提打其他供物等
一切辭退致度候に付此段謹告候也
八月九日

山崎吉平
伊藤淺之助
高岡文夫

肅啓 酷暑の候御尊堂益々御清福の段奉賀
候儀而先般慈徳院葬送の際は種々御配慮を
忝ふし奉深謝候
本年は舊宇蘭盆に相當致し候處時節柄と生
前の遺志を尊重し甚だ勝手釜敷候得共提灯
其他の御供物等一切固く御辭退申上
候間不惡御諒承の程願上候
先は乍失禮以寸楮御通知迄如斯に御座候
敬具
昭和七年八月
平町 山田盤磨

トシマ水防用生學小

耐久三年以上

完全なツルヤの
防水マントを

入學進級のわ子様方へ

中ゴム合セ別誂マント
進入生用
二尺二寸 一圓四十錢
二尺四寸 一圓六十錢
二尺六寸 一圓八十錢
男女 二圓三十錢
平四 ツルヤ電一四〇